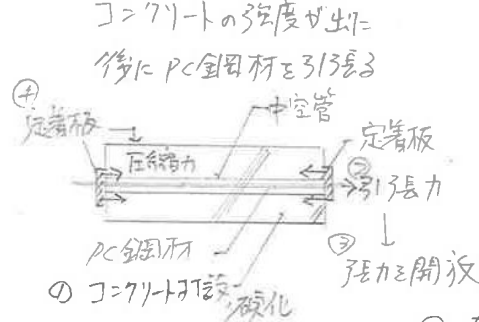
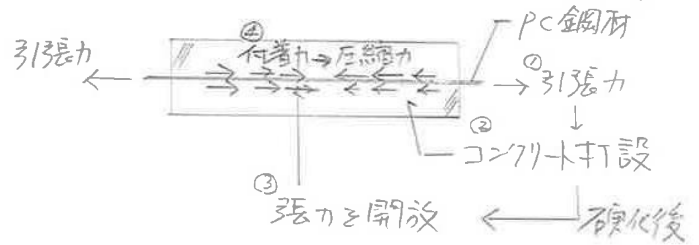


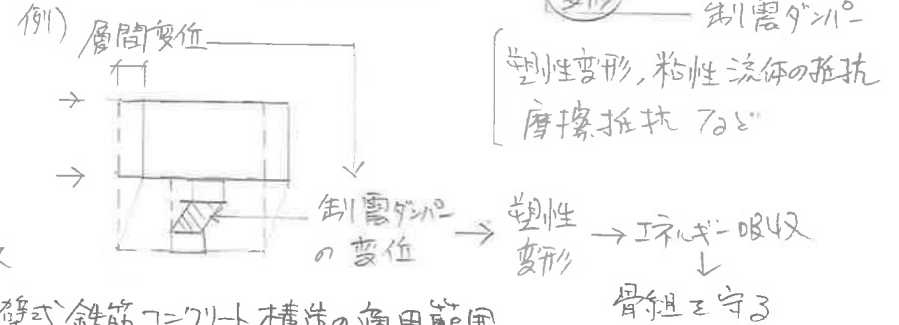
平成29年 No.22 建築構造

1. プレストレストコンクリート構造におけるプレテンション方式 → コンクリート打設前にPC鋼材を引張る方法。コンクリートとの付着によりコンクリートに圧縮力が生じる。
2. 制震構造 → 骨組とは別にエネルギーを吸収する緩構造を設けた構造 → 制震ダンパーに変位を伝える事でエネルギーを吸収する
3. 免震構造 → 様々な免震装置(アイルタ, ダンパー)の開発により、幅が広く適用出来る事が可能。
4. 壁式鉄筋コンクリート構造の適用範囲 → 5階以下かつ軒高20m以下

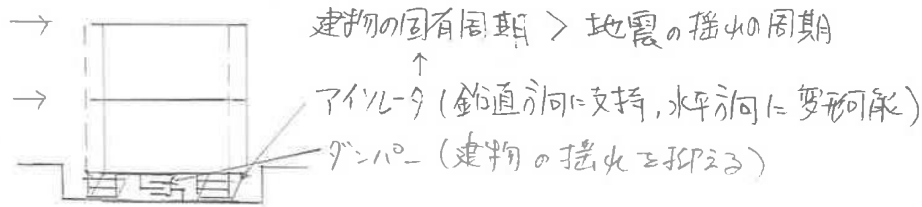
① プレストレストコンクリート構造におけるプレテンション方式 ↔ ポストテンション方式



② 制震構造 → 骨組とは別にエネルギーを吸収する緩構造を設けた構造



③ 免震構造 → 建物の固有周期を伸ばし
建物を受ける地震力を抑制する構造



④ 壁式鉄筋コンクリート構造の適用範囲

